



安らぎと希望ある 終の棲家を求めて ターミナルケア準備会 始動!



勉強会の様子

一般財団法人オアシスでは、NPO 法人ふぁみりーさぼーと泉と協働して人生の終末期を迎える方々が、安心して過ごせる終の棲家の建設を目指して動き出しました。

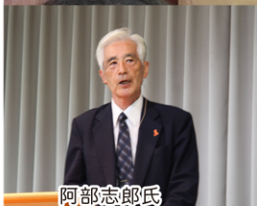
やがて誰もが人生の総仕上げの時を迎えます。この人生の完成期ともいえる大切な時期を、孤独を感じて過ごす方々も多くいます。この問題を個人や、それぞれの家族の問題として片付けてしまうのではなく、より良い終末期福祉の在り方を探っていきたいと思っています。

この働きの始まりは、昨年にさかのぼります。まずは、5回にわたって勉強会を開き、社会の第一線で高齢者福祉に従事されている方々から、学ぶ機会を設けました。

1回目は特別養護老人ホーム 川口キングス・ガーデンの橋村副施設長、2回目はケアハウス 主の園の山崎公三園長をお招きし、施設で暮らすことの実感を教えていただきました。

3回目は在宅ホスピスを実践している横浜市のみぐみ在宅クリニック 小澤竹俊医師から、在宅看取りについて受講しました。最終回の講師には、日本の社会福祉事業の実践者であり、県立保健福祉大学 名誉学長の阿部志郎氏から、福祉の心に関して講義を受けました。

各々の講義に70人前後の参加者が集まり、高齢期の在り方に対する関心の高さが伺われました。そして、講師の方々が、どれほど心を砕いてお一人お一人の人生に関わり支えようとしているか、熱い姿勢が伝わる勉強会となりました。



阿部志郎氏



橋村あゆみ副施設長



小澤竹俊医師

一方、施設見学にも出かけました。2012年3月は埼玉県川口市の川口キングス・ガーデンを見学し、2013年1月には群馬県高崎市のケアホーム 愛(まな)の家を訪ねました。

高齢期の暮らしに関する分野には、在宅、施設、医療、介護、生活支援等々、様々あります。前述のように取り組んでいく中で、最初に手掛ける事柄に関して、一つの方向に焦点が定まり始めてきました。それは、着手し易い規模と範囲で、終の棲家となる施設を建設することです。そのために、有志により、昨年12月「ターミナルケア準備会」が発足しました。

実現には多くのクリアすべき課題があり、計画も緻密に練っていく必要がありますが、「笑顔のつながるコミュニティー」の一角として実現できるように、一つ一つ真摯に取り組んでいきます。



川口キングス・ガーデン見学



愛(まな)の家見学

ホームヘルパー2級養成研修講座 開講中!

ホームヘルパーは、支援や介護が必要な高齢者の方々が、住み慣れた我が家で暮らし続けるため、大切な役割を担っています。オアシスとふぁみりーさぼーと泉は、かながわ福祉保健学院の協力を得て、第3回ホームヘルパー2級研修講座を開講しています。第1回2回で70名が卒業。今回4月には第3回の受講生39名が新しいヘルパーとして社会に貢献するべく巣立っていきます。



高齢期の方々と終の棲家となる場を建設したいと思い、25名ほどの方々と準備会を発足させました。これから、施設の形態や入居希望者のアンケートなどを取りまとめ、具体的な計画段階へと移行しようとしています。

ターミナルケア準備会 座長 一般財団法人オアシス 評議員 末島 正敏さん

トピックス

今回は復興支援の話題をお届けします

2012年12月1日 第2回スマイルプロジェクト -15か所の仮設住宅にプレゼント240個-

スマイルプロジェクトとは、石巻の小規模仮設住宅に笑顔と共にプレゼントを届けようという企画です。昨年の6月に初めて実施しました。

被災地から多くのボランティア団体は撤退し始めていますが、仮設住宅の方々と継続的にこれからもつながってきたいという思いから、2回目を企画しました。今回は、敢えて寒い時期、しかも世の中がクリスマスでプレゼントを渡し合う、そのような時期を選び心温まるプレゼントを届けたいと考えました。

仮設住宅は依然厳しい状況を抱えていますが、一人暮らしの高齢者の方や、精神的に辛い状況で外出ができない方々にも、プレゼントを渡すことができました。前回と同じ仮設住宅への訪問ということで、被災された方々の、自分たちは忘れられていない、という喜びの思いも伝わってきました。また、子どもたちも、満面の笑みでプレゼントを受け取り、訪ねていったボランティアが逆に励まされました。3回目の訪問もぜひ企画し、被災地の方々と心の交流を継続していきたいと願っています。

協力企業 株式会社豊島屋 株式会社ファンケル ヤマザキナビスコ株式会社 *ご支援を感謝します*



プレゼントを届けたボランティア25名



心を込めてプレゼントを渡しました

2012年11月3日 栄区民まつり

毎年恒例の横浜市栄区の大規模なイベント、栄区民まつりが昨年11月に開催されました。当日は5万5千人の出入。栄区と交流のある石巻市もブースを構え、オアシスも石巻の物産や石巻やきそばを販売して石巻ブースを応援しました。収益は津波の被害で廃校になった学校の校歌をCDに収録するプロジェクトに寄付いたしました。



石巻やきそばに行列が。お昼過ぎには完売しました

NPO ニュース

関係NPO法人の活動状況です

ふぁみりーさぼーと泉



建物も完成しました!!

来る4月1日に、小規模ディサービス「でい・さろん泉」が栄区飯島町でスタートします。地域の皆さまの憩いと安らぎとなるよう願っています。

エスプランサ・スポーツクラブ



1月29日、ジュニアユース(中学生)チームは、栄区代表で出場した横浜市市長旗杯の優勝報告を兼ねて栄区長を表敬訪問しました。

ふぁみりーさぼーと のあ



2012年12月、クリスマス会と初めての同窓会をしました。たくさんの卒園児が来てくれました。

のあインターナショナルスクール



全校生徒で、星野富弘展『いのちより大切なもの』を見学しました。「わたしの目には、あなたは高価で尊い」(聖書)というスクールのテーマの意味を皆で思い起こしました。

** オアシスの活動は、支援企業の皆さまやサポーターの皆さまによって支えられています **

(五十音順)

支援企業

22社 (2月末現在)

アマノ株式会社
株式会社イチネン
株式会社栄港建設
株式会社オーガスト
株式会社大塚商会
コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社
株式会社サンビルダー

株式会社 式典船山博善社
株式会社 ジャパン ビラレッジ ホールディングス
セコム株式会社
ガイドードリンク株式会社
株式会社千葉増改築
株式会社ノア
株式会社パーソナルセキュリティ

株式会社白洋舎
NPO法人ふぁみりーさぼーと泉
株式会社ファンケル
有限会社ファンタジア
万座温泉 日進館
株式会社コカ
横浜女子短期大学
理想科学工業株式会社

オアシスサポーター

78名 (2月末現在)

サポーター入会のお申込みは、オアシス事務局(Tel.045-894-3500)まで

青木徳子 生沼修一 栢希恵子 斎藤美智子 鈴木恵子 徳永理圭 細沼好子 箕輪憲昭
荒井ゆかり 太田瑞穂 辛島敦生・祥子 さかえ未来塾 鈴木憲三郎 柄内菜穂子 本間弘一 明珍玲子
池田惠陽 大町一志 上林寧 関口正俊 鈴木美和子 中島鎮夫 本間保子 森登・柳子
池田登喜子 尾崎幸 北川嘉之 佐藤丈史 高岡由佳 名取克範 前嶋淳子 矢崎道子
池田博 小野美佐子 金動完 佐藤文子 高橋真知子 平田廉吉 牧野幸弘 山神泰
池田ゆみ子 風間郁乃 木村秀子 品澤輝子 田崎眞一 平野修一 松井恵 山崎維子
石川知生 梶野智弘 木脇久代 島崎正光 田中靖子 平野尚美 松本恵子 横須賀悦子
石森敦子 梶野道子 霜山明子 霜山明子 田中靖子 平野尚美 松本恵子 渡部直子
岩村美奈子 兼古良一 小林久子 白井紀子 月井博 福田理佳 水上裕子
瓜生由美子 狩野琢三 小林美枝 白川市子 月井みちる 藤江理子 溝口修

一般会計

2012年4月~2013年2月

前期繰越	3,747千円
◆収入	
寄付金収入	1,203千円
会費収入(オアシスサポーター)等	2,142千円
小計	3,345千円
◆支出	
活動費	67千円
事務運営費	3,793千円
小計	3,860千円
収支差額	△515千円
その他収支計	△102千円
次期繰越金	3,130千円

復興支援会計

2012年4月~2013年2月

前期繰越	1,894千円
◆収入	
助成金収入	2,600千円
寄付金収入等	4,296千円
小計	6,896千円
◆支出	
支援活動費	4,841千円
小計	4,841千円
収支差額	2,055千円
その他収支計	△1,605千円
次期繰越金	2,344千円

※お詫び：前号(2012/9/1)の会計報告の「次期繰越金」の数字に誤りがありました。今回の「前期繰越」の数字が正しいため、訂正してお詫びいたします。